

平成 26 年の機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出は 2 年連続プラス、貿易収支は過去最大の赤字～

平成 26 年(1-12 月)の**全商品輸出額**は、欧州経済が低迷したものの、円高是正、堅調な米国経済等により、対前年比(以下同じ)**4.8%増の 73 兆 930 億円**と 2 年連続でプラスとなった(平成 25 年 9.5%増)。これは、全商品輸出額の約 23%を占める自動車等輸送用機器(3.5%増)、約 20%の一般機械(6.4%増)、約 17%の電気機器(5.0%増)が増加したことによる。

一方、**全商品輸入額**は、**5.7%増の 85 兆 9,091 億円**と 5 年連続のプラスながら、前年(14.9%増)から伸び率が縮小した。これは、輸入額の約 13%の電子部品・通信機等電気機器(11.8%増)、約 8%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(11.9%増)と電算機・原動機等一般機械(13.1%増)が大きく増加したものの、約 32%を占める原粗油等鉱物性燃料(0.9%増)が伸び悩んだためである。

この結果、平成 26 年の**貿易収支**は**12 兆 8,161 億円**の赤字となり、過去最大(統計のある 1979 年以降)となった(2013 年 11.5 兆円赤字)。

図表 1. 全商品・機械貿易動向(年)

	円建(億円)				ドル建(百万ドル)				対H19年 (円建)比	
	平成25年	伸び率	平成26年	伸び率	平成25年	伸び率	平成26年	伸び率		
輸出	全商品	697,742	9.5	730,930	4.8	719,345	▲ 10.2	694,360	▲ 3.5	0.87
	機械	445,333	6.3	468,482	5.2	458,996	▲ 12.8	444,990	▲ 3.1	0.81
	シェア	64%		64%		64%		64%		
輸入	全商品	812,425	14.9	859,091	5.7	838,856	▲ 5.5	816,599	▲ 2.7	1.18
	機械	207,171	20.5	232,184	12.1	213,618	▲ 1.1	220,453	3.2	1.16
	シェア	26%		27%		25%		27%		
収支	全商品	▲ 114,684	-	▲ 128,161	-	▲ 119,511	-	▲ 122,239	-	-
	機械	238,161	▲ 3.6	236,298	▲ 0.8	245,378	▲ 21.0	224,536	▲ 8.5	0.63
	シェア									

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は 2 年連続プラス、輸入は 5 年連続プラス

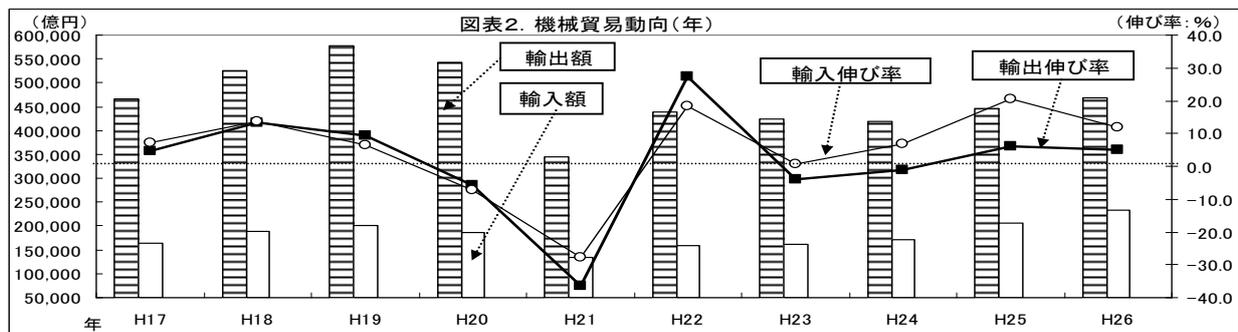
全商品輸出額の 64%を占める**機械輸出額**は、昨年に比べ、**5.2%増の 46 兆 8,482 億円**と2年連続でプラスとなった。この間、為替は、対ドルでは、年平均レート 105.3 円で前年比 8.7%、対ユーロでは 140.3 円で 9.2%の円安となり、円建輸出額を約 4.8%拡大させる要因となった。

この結果、平成 26 年の機械輸出額をリーマンショック以前の平成 19 年の輸出額と比較すると 81%の水準である。

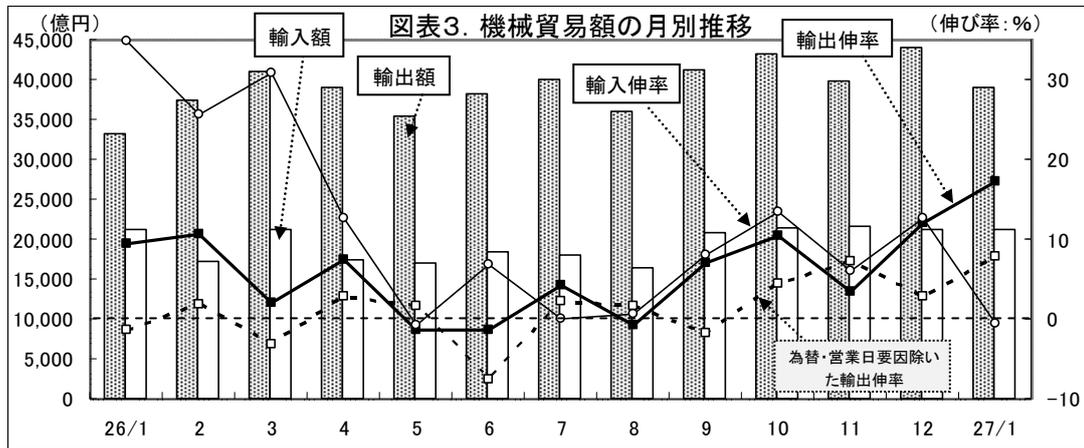
月別では、9 月以降、円高の是正、堅調な米国経済などによって輸出の伸び率は、徐々に伸び率を高め、プラス成長を継続している。

一方、全商品の 27%を占める**機械輸入額**は、**12.0%増の 23 兆 2,049 億円**と 5 年連続のプラスとなり(平成 25 年 20.5%増)、平成 19 年比では 116%とリーマンショック以前の水準を大きく超えている。

この結果、機械貿易収支は約 23.6 兆円の黒字となった(2013 年 23.8 兆円)。



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
対ドルレート(円)	116.2	118.0	104.3	93.5	88.1	80.0	79.5	96.9	105.3
円高(+)(%)	-6.0	-1.5	+11.6	+10.4	+5.8	+9.2	+0.6	-21.9	-8.7



機械輸出伸び率(%)	9.5	10.7	2.0	7.5	-1.3	-1.4	4.2	-0.8	7.0	10.4	3.4	12.0	17.2
------------	-----	------	-----	-----	------	------	-----	------	-----	------	-----	------	------

(2) 地域別輸出動向～全ての地域向けでプラス、EU、中国向けが大きく伸長～

機械輸出を地域的にみると、6地域向け全てでプラスとなり、

①機械輸出の約24%を占める最大輸出地域である**北米向け**は、同地域向け輸出額の約48%を占める自動車(0.4%増)が伸び悩んだものの、産業機械(7.1%増)、航空機部品(25.6%増)、重電気機械(5.5%増)、建設機械(11.1%増)が増加して**4.3%増**となり、

②約12%を占める**EU向け**は、全体の約32%を占める自動車(14.8%増)のほか、約18%の産業機械(8.4%増)、理化学用機器等軽機械(17.9%増)等が大幅に増加して**9.9%増**となった。

③約9%の**韓国・台湾向け**は、全体の18%を占める電子デバイス(8.6%減)がマイナスとなったものの、自動車(13.6%増)、光学機械(10.5%増)、重電気機械(5.4%増)等が増加して**2.5%増**となり、

④約21%の**中国向け**は、自動車(10.0%増)、光学機械(10.7%増)、重電気機械(14.2%増)等が増加し、**8.7%増**となった。

⑤約15%の**ASEAN・南アジア向け**は、タイ(10.3%減)、インドネシア(7.8%減)が大きくマイナスとなった一方、ベトナム(31.0%増)、パキスタン(29.8%増)、フィリピン(11.4%増)、シンガポール(10.3%増)向けがプラスとなり、機種別では、自動車(8.0%減)がマイナスとなったものの、産業機械(3.7%増)、電子デバイス(10.5%増)等が増加し、**2.2%増**となり、

⑥約19%の**その他地域向け**は、ロシア東欧等(6.2%減)、中南米(3.2%減)等がマイナスとなった一方で、中近東(22.3%増)向けが大幅に増加し、機種別では自動車(5.0%増)、産業機械(12.5%増)等が増加したものの、船舶(9.2%減)が減少して**3.6%増**となった。

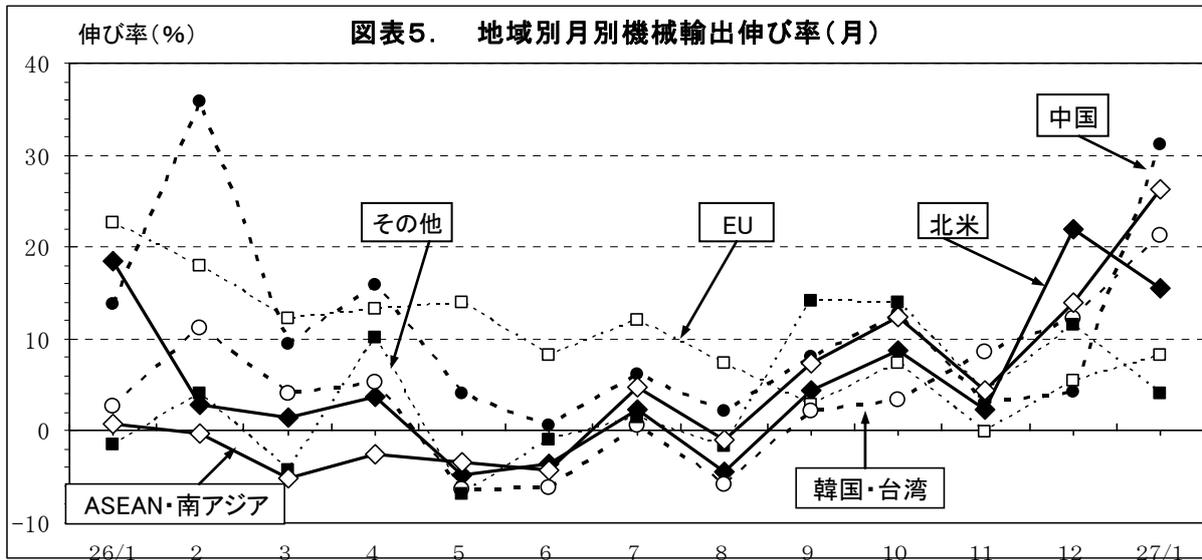
各地域向けを平成19年と比較すると、ASEAN・南アジア向けが102%とリーマンショック前の水準を上回り、中国向けがほぼ同水準、その他地域向けが80%台、北米、韓国・台湾向けが70%台、EU向けが50%台となっている。

図表4. 地域別機械輸出動向(年)

(単位:億円)

	平成24年			平成25年			平成26年			対H19年比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	418,837	▲ 1.0	100.0	445,333	6.3	100.0	468,482	5.2	100.0	0.81
北米	95,936	14.0	22.9	109,287	13.9	24.5	113,975	4.3	24.3	0.77
EU	45,648	▲ 16.1	10.899	48,857	7.0	11.0	53,672	9.9	11.5	0.56
韓国・台湾	38,280	▲ 8.9	9.1	41,723	9.0	9.4	42,772	2.5	9.1	0.75
中国	86,691	▲ 12.1	20.698	92,139	6.3	20.7	100,193	8.7	21.4	0.99
ASEAN・南アジア	70,426	8.6	16.8	68,830	▲ 2.3	15.5	70,349	2.2	15.0	1.02
その他	81,855	3.6	19.5	84,496	3.2	19.0	87,521	3.6	18.7	0.82

▲は、前年比10%以上の増加



(3)業種別輸出動向～21業種中16業種が前年比プラス、5業種がマイナス～

平成26年は全21業種のうちプラスの業種が16業種と前年と同じであった。全体の35%を占める自動車(3.4%増)をはじめ17%を占める産業機械(5.6%増)、8%の電子デバイス(3.9%増)の大型業種がプラスとなり、光学機械(10.3%増)、工作機械(25.8%増)、航空機部品(24.6%増)、通信機械(16.2%増)、医療機械(14.5%増)、ベアリング(11.3%増)、農業機械(17.3%増)の7業種が二桁増となった。他方、マイナスとなったのは鉄道車両(7.5%減)、船舶(6.0%減)等5業種であった。

これを平成19年と比べると、リーマンショック以前の水準を超えたのは航空機部品、ベアリング、光学機械、軽機械、工作機械の5業種(前年3業種)で、電子計算機は30%台、民生用電子機械は40%台に止まっている。

図表6. 上位21業種の輸出額の動き(年)

(単位:億円)

平成24年				平成25年				平成26年				対H19年比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	139,321	9.8	33.3	自動車	156,270	12.2	35.1	自動車	161,657	3.4	34.5	0.81
産業機械	71,136	▲9.1	17.0	産業機械	75,349	5.9	16.9	産業機械	79,604	5.6	17.0	0.89
電子デバイス	33,074	▲6.2	7.9	電子デバイス	35,188	6.4	7.9	電子デバイス	36,560	3.9	7.8	0.71
軽電気機械	21,349	▲9.0	5.1	軽電気機械	22,983	7.7	5.2	軽電気機械	24,147	5.1	5.2	0.78
重電気機械	20,931	▲1.3	5.0	重電気機械	22,152	5.8	5.0	重電気機械	24,004	8.4	5.1	0.95
船舶	19,960	▲14.8	4.8	民生用電子機械	18,635	▲6.5	4.2	軽機械	18,426	9.8	3.9	1.14
民生用電子機械	19,931	▲1.0	4.8	船舶	17,822	▲10.7	4.0	民生用電子機械	17,844	▲4.2	3.8	0.43
軽機械	15,578	3.2	3.7	軽機械	16,779	7.7	3.8	光学機械	17,633	10.3	3.8	1.20
光学機械	15,064	▲2.5	3.6	光学機械	15,987	6.1	3.6	船舶	16,748	▲6.0	3.6	0.78
建設機械	13,037	▲4.4	3.1	建設機械	11,453	▲12.1	2.6	建設機械	12,236	6.8	2.6	0.74
工作機械	10,423	10.3	2.5	工作機械	8,447	▲19.0	1.9	工作機械	10,629	25.8	2.3	1.09
航空機部品	5,106	18.9	1.2	航空機部品	6,761	32.4	1.5	航空機部品	8,423	24.6	1.8	1.70
通信機械	5,094	▲8.8	1.2	通信機械	5,722	12.3	1.3	通信機械	6,650	16.2	1.4	0.62
電子計算機	4,786	▲9.9	1.1	電子計算機	5,543	15.8	1.2	電子計算機	5,535	▲0.2	1.2	0.38
ベアリング	4,164	▲10.7	1.0	ベアリング	4,380	5.2	1.0	医療機械	4,982	14.5	1.1	0.99
陸用内燃機	4,060	▲13.5	1.0	医療機械	4,352	16.8	1.0	ベアリング	4,875	11.3	1.0	1.23
医療機械	3,727	0.5	0.9	陸用内燃機	4,088	0.7	0.9	陸用内燃機	4,402	7.7	0.9	0.94
繊維機械	1,876	▲23.2	0.4	繊維機械	2,504	33.5	0.6	繊維機械	2,496	▲0.3	0.5	0.79
農業機械	1,717	0.0	0.4	農業機械	1,871	9.0	0.4	農業機械	2,195	17.3	0.5	0.94
産業車両	1,445	▲6.7	0.3	産業車両	1,430	▲1.1	0.3	産業車両	1,512	5.8	0.3	0.62
鉄道車両	581	5.8	0.1	鉄道車両	736	26.5	0.2	鉄道車両	680	▲7.5	0.1	0.91
21業種合計	412,361		98.5	21業種合計	438,452		98.5	21業種合計	461,238		98.5	0.81

前年比10%以上の増加・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(4) 機械輸入動向～全地域がプラス、電子デバイス、自動車部品が大幅増～

平成26年の**機械輸入額**は、**12.1%増**と昨年(20.5%増)から伸び率は縮小したものの、5年連続のプラスとなった。地域別では、機械輸入額の43%を占める**中国**(12.6%増)をはじめ、金額順に**ASEAN・南アジア**(13.5%増)、**EU**(14.3%増)、**北米**(10.3%増)、**韓国・台湾**(9.7%増)、**その他地域**(6.7%増)と全地域向けがプラスとなった。

機種別では、二大輸入機種の**電子デバイス**(17.4%増)、**電子計算機**(8.0%増)をはじめ、**自動車部品**(20.0%増)、**コンデンサー等部分品**(10.1%増)、**その他の配電制御装置**(19.7%増)、**風水力機械**(18.1%増)が大幅な増加となった。

なお、輸入額が輸出額を上回ったのは、**電子計算機**、**携帯電話**、**航空機・部品等**、**白物家電**、**医療機械**、**受信変換その他送受信**、**配電機器**、**時計**、**TV**、**通信機械部分品**である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年)

(単位:億円)

平成24年				平成25年				平成26年			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	19,498	0.6	11.3	電子デバイス	24,183	37.8	11.7	電子デバイス	28,374	17.3	12.2
電子デバイス	17,551	0.8	10.2	電子計算機	22,523	15.5	10.9	電子計算機	24,340	8.1	10.5
携帯電話	11,253	52.1	6.5	携帯電話	16,197	43.9	7.8	携帯電話	17,376	7.3	7.5
航空機・部品等	8,706	55.5	5.1	航空機・部品等	10,727	23.2	5.2	自動車部品	12,574	20.9	5.4
乗用車	8,682	23.7	5.1	自動車部品	10,401	26.3	5.0	航空機・部品等	11,632	8.4	5.0
自動車部品	8,234	15.5	4.8	乗用車	10,337	19.1	5.0	乗用車	10,993	6.4	4.7
白物家電	6,903	8.1	4.0	白物家電	8,234	19.3	4.0	白物家電	8,757	6.4	3.8
受信変換その他送受信	6,020	21.6	3.5	医療機械	6,863	19.6	3.3	医療機械	7,411	8.0	3.2
医療機械	5,740	8.1	3.3	受信変換その他送受信	6,098	1.3	2.9	受信変換その他送受信	6,390	4.8	2.8
配電機器	4,808	15.4	2.8	配電機器	5,713	18.8	2.8	配電機器	6,221	8.9	2.7
コンデンサー等部分品	3,635	2.6	2.1	コンデンサー等部分品	4,065	11.8	2.0	コンデンサー等部分品	4,481	10.2	1.9
通信機械部分品	3,024	20.3	1.8	その他の配電制御装置	3,575	22.4	1.7	その他の配電制御装置	4,280	19.7	1.8
その他の光学機器	3,005	1.7	1.7	風水力機械	3,187	20.4	1.5	風水力機械	3,765	18.1	1.6
13機種合計	107,059		62.3	13機種合計	132,103		63.8	13機種合計	146,594		63.2

前年比10%以上の増加。 民生用電気機械:白物家電

・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等